



NO 8

令和6年9月2日

文責：喜多三郎

『いのちを大切に、進んで学ぶ、素直でたくましい子どもの育成』

島五小だより ふるさと安中大好き！

～すなおさいっぱい かしこさいっぱい たくましさいっぱい～

いのちを元気に 2学期スタート



44日間の長い夏休みが終わりました。しばらくの間、静かだった学校に子どもたちの歓声が帰ってきました。「おはようございます」の子どもたちの元気いっぱいのあいさつや笑顔で遊び戯れる姿など、心地のよい声が響くようになりました。この夏休み交通事故や水の事故、熱中症等の大きな事故やけがの報告もなくホッとしているところです。これもひとえに、保護者や地域の皆様方の温かい声かけや見守り・指導のおかげと改めて深く感謝申し上げます。しかしながら、インフルエンザや新型コロナウイルス感染症や熱中症対策など、まだまだ気を緩めることはできません。2学期のスタートにあたり、これまでに以上に気を引き締め、自然災害も含め、各種安全対策等に万全を期していかなければならないと考えています。実りの2学期、全校児童一人一人が各種行事や学びをとおして、大きく成長することを期待します。子どもたちのいのちを守ることが最優先にしながら、教育活動を推進してまいります。2学期も引き続き、家庭や地域の皆様方のご理解・ご支援を賜りますようよろしくお願いいたします。

○「強くて楽しい第五小に」(校長講話一部抜粋)

さて、2学期も1学期に引き続き、日本一楽しい学校を目指して、みんなで力を合わせて取り組んでまいりましょう。目標に向かって努力続けている人、頑張っている人がたくさんいる学校を目指します。2学期は楽しみにプラスして「強い」第五小学校を目指していきましょう。強いとは喧嘩が強い学校ではありません。1つ目に、学校やクラス、友だちとのきずなの強い学校です。そのためにいつも言っているように「自分を大切に、友だちも大切にしてください。」友だちを認めることが大切

です。2つ目に、勉強や学びに強い学校。そのために毎日の授業に真剣に取り組んでください。何より毎日の積み重ねが大切です。学びの習慣化といえます。繰り返し努力しましょう。3つ目に、自分自身の強い体をつくりましょう。たくましい体とも言います。2学期は体育の授業で持久走などもあります。生活のリズムを守り、病気などに負けない強い体をつくりましょう。

2学期も楽しい毎日過ごすために、心も体も健康でなければなりません。つまり、「自分の健康・自分の身体は自分で守る」のです。『自分の命は自分で守るのです』自分の目でよく見て、よく考え判断し、行動できるようにしてください。また、2学期も交通事故にあっては絶対にいけません。いじめは絶対に許しません。だめなものは絶対にだめです。

2学期は、1年で1番長い学期です。1番気候がよく、過ごしやすい学期でもあります。ですから、みなさんには、特に「自分をみがく」2学期にしてほしいと思います。「学んでみがく」のです。毎日の授業や活動など、いろいろな行事をとおして真剣に取り組み、たくさん学んでください。自分をみがいてください。

2学期も、なりたい自分・創りたい学級・築きたい日本一の強くて楽しい第五小学校学校の構築を目指して努力を続けてください。

一番長い2学期、やりたくないことも出てくるかもしれません。決して自分に負けることなく、時には歯を食いしばって自分をみがきましょう。あなたは一人ではありません。まわりにはたくさん友だちや仲間がいます。何か困ったときや悩んだりしたときには、家族や友だち、先生方に何でも相談してください。

この2学期、皆さんの「自分で考えよい行動をする、いい声・いい顔・いい姿」をたくさん期待します。

笑顔いっぱい、ひとみ輝く第五小